

SNSとの付き合い方

投稿前チェック・プライバシー設定・炎上事例から学ぶ | 50分

対象: 中学1~3年生 | 授業時間: 50分(1コマ)
準備物: スライド(プロジェクター)、ワークシート(P.4)、生徒用端末(あれば)
ねらい: SNSの特性を理解し、安全に使うための判断力を身につける

このテーマで扱う3つの柱

1. 投稿前チェック —— 「発信」の責任を知る

一度投稿した情報は拡散・保存される。投稿前に「5秒ルール」で立ち止まる習慣をつくる

2. プライバシー設定 —— 自分の情報を管理する

公開範囲・位置情報・タグ付け設定を確認。「初期設定のまま」が最大のリスク

3. 炎上事例から学ぶ —— 他人の失敗を自分の教訓に

実際の炎上事例を匿名化して分析。なぜ起きたか、どうすれば防げたかを考える

授業の流れ(50分)

0~5分	導入	「最後にSNSに投稿したのは何？」自分ごと化の問いかけ
5~15分	展開1	投稿前チェック —— 5秒ルールと投稿前チェックリスト
15~25分	展開2	プライバシー設定 —— 初期設定の危険と正しい設定方法
25~40分	展開3	炎上事例分析 —— グループワークで「なぜ炎上したか」を議論
40~50分	まとめ	SNSとの付き合い方宣言・ワークシート記入

準備物チェックリスト

- プロジェクター + PC(スライドを映す場合)
- ワークシート(P.4を人数分コピー)
- この指導案資料(印刷して手元に)
- 生徒用端末(実際にプライバシー設定を確認する場合・なくても可)

指導のコツ

中学生はSNSの利用が急増する時期。「やるな」ではなく「賢く使う」スタンスが効果的。
Instagram、TikTok、X(旧Twitter)など具体的なサービス名を出すと生徒の関心が高まります。

指導のポイント

■ 導入(5分) 自分ごと化の問いかけ

「最近SNSに投稿した人？」と挙手させ、自分の利用実態を自覚させる。

問いかけ例:

- ・「SNS使っている人？どのSNSを使っている？」(匿名で集計しても良い)
- ・「投稿するとき、何秒くらい考えてから投稿してる？」
- ・「今日は"あとで後悔しないSNSの使い方"を一緒に考えます」

板書ガイド

板書: 「SNS = 便利なツール。でも使い方を間違えると一生残る」

■ 展開1(10分) 投稿前チェック —— 5秒ルール

【伝えるポイント】SNSの投稿は「教室で全校生徒に向かって叫ぶ」と同じ。投稿ボタンを押す前に5秒間、以下をチェックする習慣をつける。

- 個人情報
名前・学校名・住所・制服・最寄り駅が写っていないか？
- 他人の権利
友人の顔写真・他人の著作物を無断で使っていないか？
- 誹謗中傷
特定の人を傷つける内容になっていないか？
- 将来の自分
3年後の自分が見ても恥ずかしくないか？ 進路に影響しないか？
- 拡散リスク
スクショされて広まっても問題ないか？ 消せなくなる覚悟はあるか？

板書ガイド

板書: 5秒ルール → 投稿ボタンの前に (1)個人情報 (2)他人 (3)誹謗中傷 (4)将来 (5)拡散

■ 展開2(10分) プライバシー設定 —— 初期設定の危険

【伝えるポイント】

- ・多くのSNSは初期設定が「公開」。知らない人に全投稿が見られている可能性がある
- ・位置情報がオンだと、写真から自宅や学校が特定される
- ・タグ付けを許可していると、勝手に自分の名前が公開される

【確認すべき設定項目】

- ・アカウントの公開範囲(公開 / 非公開) → 非公開を推奨
- ・位置情報の付与(オフを推奨)
- ・タグ付けの許可(承認制を推奨)
- ・DM(ダイレクトメッセージ)の受信範囲(フォロワーのみ推奨)

実践のヒント

端末がある場合: 実際にInstagramやTikTokの設定画面を開いて確認させると効果的。
ない場合: 各SNSの設定画面のスクリーンショットをスライドで見せる。

■ 展開3(15分) 炎上事例分析 —— グループワーク

P.3の事例を配布し、4~5人グループで「なぜ炎上したか」「どうすれば防げたか」を議論。
各グループ発表(1分) → 教師がポイントをまとめる。

議論の視点(板書して提示):

- ・投稿者は何を考えていた(or 考えていなかった)か？
- ・5秒ルールのどこに引っかかるか？
- ・この人の将来にどんな影響があるか？

■ まとめ(10分) SNSとの付き合い方宣言

ワークシート(P.4)を記入。自分のSNSルールを「宣言」として書く。
「SNSをやめるではなく、賢く使おう」というメッセージで締める。

指導に役立つ用語解説(10語)

デジタルタトゥー

ネット上の情報が半永久的に残ること。就職・進学時に発覚するケースも多い。

炎上(えんじょう)

不適切な投稿が拡散され大量の批判を浴びること。匿名でも特定される。

特定(とくてい)

投稿内容や写真の背景から個人を割り出すこと。制服・景色・店名から可能。

スクリーンショット

画面を画像保存する機能。削除しても相手のスクショは消えない。

プライバシー設定

SNSで公開範囲やDM受信などを管理する設定。定期的な見直しが重要。

位置情報(Exif)

写真に埋め込まれる撮影場所データ。SNS投稿から自宅が特定されるリスク。

タグ付け

投稿に他のユーザーを紐づける機能。勝手に付けられると情報が公開される。

なりすまし

他人の名前や写真を使って偽アカウントを作成すること。犯罪になるケースもある。

誹謗中傷

根拠なく他人を傷つける表現。SNS上でも名誉毀損・侮辱罪に問われる。

開示請求

匿名の投稿者を特定するための法的手続き。2022年の法改正で手続きが簡素化。

炎上事例カード(グループワーク配布用)

事例A: バイトテロ動画

飲食店アルバイトが不衛生な行為を撮影し、仲間内のストーリーに投稿。スクショで拡散→店舗は営業停止→投稿者は退学処分+損害賠償請求。

事例B: 試合後の暴言投稿

部活の試合で負けた直後、相手チームへの侮辱的な投稿をSNSに投稿。学校名が特定→全国ニュースに→部活動停止+本人は推薦入試取り消し。

事例C: 友人の写真を無断投稿

「おもしろいから」と友人の寝顔写真をSNSに投稿。本人は知らないまま拡散。友人が不登校に→投稿者は肖像権侵害で指導→友人関係が崩壊。

事例D: 匿名アカウントでの悪口

匿名アカウントで同級生の悪口を書き続けていたが、文体とフォロワーから特定。開示請求→名誉毀損で被害届→家庭裁判所送致。「匿名でも必ずバレる」。

よくある質問(生徒から出やすい質問)

Q. 鍵アカ(非公開)にしてるから大丈夫じゃない?

→ フォロワーがスクショすれば一瞬で拡散。鍵アカは「見える人を限定」するだけで安全ではない。

Q. ストーリーは24時間で消えるから問題ないでしょ?

→ 消える前にスクショ・画面録画される。消えたつもりでも相手のスマホには残っている。

Q. 匿名なら何を書いてもバレない?

→ IPアドレスから特定可能。2022年改正法で開示請求がさらに簡単になった。

SNSとの付き合い方 ワークシート

～「発信する力」と「守る力」を身につけよう～

名前: _____

年 組 番

日付: 月 日

Q1. 投稿前5秒チェックリスト —— 自分の最新の投稿を振り返ろう

- 個人情報(名前・学校名・住所・制服・最寄り駅)が写っていないか
- 他人の顔写真・著作物を無断で使っていないか
- 特定の人を傷つける内容になっていないか
- 3年後の自分が見ても問題ないか(進路・就職に影響しないか)
- スクショされて広まっても問題ないか

Q2. 自分のSNSプライバシー設定を確認しよう

アカウント公開範囲	(公開 / 非公開)
位置情報	(オン / オフ)
タグ付け許可	(誰でも / 承認制 / オフ)
DM受信範囲	(全員 / フォロワーのみ)

Q3. 炎上事例を分析しよう(事例 を分析)

なぜ炎上したか?(原因)

5秒チェックリストのどこに引っかかるか?

どうすれば防げたか?(対策)

わたしのSNSルール宣言

SNSを安全に、賢く使うために自分で決めたルール: